

<2010—2011年度>

第2回

キャビネット会議

委員会委員長報告書

2010年11月8日（月）

新宿京王プラザホテル南館4階「扇」

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 政策・計画委員会

委員長名 L 橋口啓一

報告事項

すでに 5 回の委員会を開催（10 月 8 日現在）

第 1 回委員会（7 / 26）

役割：河合悦子ガバナーが「ドラマチック 330-A」を推進していくために必要な「パイロット」（水先案内人）的な役割を果たす。

ということを確認

そのためには、「地区メンバーの意見を反映できる委員会」にすることを委員全員が確認。

第 2 回委員会（8 / 4）

役割分担

副委員長 1 名と委員 1 名で一つの活動単位を構成

- ①委員会総務担当（L 和田健治副委員長 L 豊泉普文委員）
 - ・年間委員会開催予定の立案と実施
- ②他委員会渉外担当（L 中山道則副委員長 L 大石和夫委員）
 - ・他の委員会との調整、現況調査を行う。
- ③リジョン・ゾーン渉外担当（L 洗昌躬副委員長 L 黒井朝久委員）
 - ・リジョン・ゾーンとの調整、現況調査を行う。
- ④委員会運営企画担当（L 利根川昌弘副委員長 L 瀬尾正弘委員）
 - ・委員会の司会進行
 - ・委員会の議案のとりまとめ

政策課題の検討

ワークショップによる情報の共有化

「クラブの活性化なくして地区の活性化なし、
地区の活性化なくしてクラブの活性化なし。」

のために、この委員会は何をしなくてはならないか？

- ①今各クラブが抱えている問題は何か？
- ②今キャビネットが抱えている問題は何か？
- ③「ドラマチック 330-A」を実現するために何が必要か？

上記①～③の課題を各自用紙に整理し、それぞれが意見を発表。

提出された課題は、委員会運営企画担当（L 利根川昌弘副委員長 L 瀬尾正弘委員）が、整理してデータ化。

第 3 回委員会（9 / 3）

政策課題の設定

- ①リテンション防止と会員増強のためには、新入会員を意識したクラブ運営と例会の開催が必要

→クラブ5役の機能を強化するための方策をガバナーから担当委員会に諮問してもらう。

→担当委員会による「深い感動を与える合同入会式の開催」をガバナーに提言

②クラブによっては、同じ人が何回も会長・幹事に就任するが、この問題を解決することが必要

→クラブ会長・幹事の選出についての「ガイドライン作成」を、ガバナーから担当委員会に諮問してもらう。

③地区運営の要となるRCP、ZCPの選出が、各クラブメンバー数40名以上の時代と同じなため、いろいろな弊害が出ているが、これについて改善が必要。

→「ガバナー諮問委員会開催マニュアル」の作成をガバナーから担当委員会に諮問してもらう。

→政策・計画委員会でマニュアルを作成する。

④各委員会が独自に各種のセミナーやイベントを開催しているが、日程が集中してしまうことが多く、結果として各クラブとも同じメンバーが何度も参加するという事になっていないか。

→政策・計画委員会が、各委員会のセミナー、イベント日程を早急に調査し、日程が集中しないように調整するべきではないだろうか。

→第2回キャビネット会議に「日程調整の方策」を提案する。

河合ガバナーとの懇談会（9／29）

アワード見直しのポイント確認

年次大会で時間を取られないようにしたい。／真にアワードに値するものを取り上げたい。／公平性・透明性を担保したい。／賞品の見直しもしたい。

→第2回キャビネット会議に「2010-2011年度 アワード規定の骨子」を提案する。

第4回委員会（10／8）

アワード規定の骨子の検討

- i 新しいアクティビティの開拓にかかわるアワード（クラブ・ゾーン・あるいはリジョン）
- ii ホームクラブ出席を重視したアワード（個人）
- iii 会員増強にかかわるアワード（クラブ・個人）
- iv 傘寿・米寿・卒寿・白寿など高齢者をたたえるアワード（個人）
- v 従来の総花的なアワードから、社会福祉／薬物乱用防止／YE／LCIF／献血／青少年育成に絞り込み クラブ・個人とも大賞のみ贈呈する。
- vi ガバナー特別賞として「難病対策支援フォーラム&チャリティコンサート」に特段の支援のあった個人・クラブを表彰する。

以上の骨子を政策・計画委員会でまとめ、第2回キャビネット会議に議案提出をする。

ZCP/RCPの選出について

地区年次大会の案件として、「ZCP/RCPの選任はガバナーの専権事項であることを確認する決議」を政策・計画委員会からガバナーに提言したい。

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 会則・会員委員会

委員長名 L 池 田 和 司

報告事項

河合ガバナーより、当委員会に諮問がございました以下の 1、2、3 の見直しの要否について、当委員会にて審議を致しましたところ、以下の結果となりましたので、ご報告致します。

1、330-A 地区第 57 回年次大会議事規則。

改正の必要はない。(但し、4 の委員会名および分科会名につきましては、名称の変更を行う)

2、地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー及び第 2 副地区ガバナー代議員会における選挙に関する事項。

改正の必要はない。

3、地区ガバナー・第 1 及び第 2 副地区ガバナー選挙に関する規定。

以下の事項を改正する。

①、新しく「代議員名簿」の規定を新第 7 条として規定し、以下順次繰り下げる。

②、旧第 9 条（文書による運動）の 2、を「通常葉書（内国郵便約款第 20 条・第 21 条・第 22 条による）」と改める。

尚、改正部分を踏まえた新しい規定を別紙のとおり、当委員会の提出案件として提出いたします。

(注) 10月15日（金）（※必着厳守）までに330-A 地区キャビネット事務局宛まで E メールもしくは F A X にてご提出をお願いいたします（E メール報告推奨）
E メール件名は必ず「第 2 回キャビネット委員長報告書」としていただき、ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 会員増強・エクステンション・リテンション委員会

委員長名 L 長 井 隆 充

報告事項

(1) 国際協会本部のファーストライト賞の受賞を目指しました。

9 月 3 0 日 於：東京プリンスホテル

東京新世紀 L C スポンサー（東京成城 L C）

東京蒼天 L C スポンサー（3 3 0 - A 地区キャビネット）

の合同結成会が挙行されました。

河合悦子ガバナーを筆頭に 1 2 0 名の参加をいただきました。

結成会の準備会は各クラブ 各々 6 回開催されました。

(2) 1 0 月 1 8 日（月）於：新宿京王プラザホテル

午後 1 時～ 3 時に会員増強セミナーを開催いたします。

(3) 当委員会は既に 5 回開催されました。

(4) 認証状伝達式の開催

イ) 東京新世紀 L C 1 1 月 1 0 日（水）

ヒルトン東京ホテル 午後 6 時～午後 8 時 3 0 分

東京成城 L C 4 0 周年記念式典と同日同時刻に行われます。

ロ) 東京蒼天 L C 1 1 月 3 0 日（火）

東京プリンスホテル 午後 6 時～午後 8 時 3 0 分

当委員会の予定目標

(1) エクステンションクラブ

(2) 会員増強

(1) (2) につきましては、今後、積極的に取組みます。

以上

第 2 回 キャビネット会議 委員長報告書

委員会名 I T 委員会

委員長名 L 佐原幸雄（東京みやこ L C）

1) eMMR-サバンナ活用をサポート

キャビネット事務の省力化、効率化のための地区会員データベースとしてサバンナの活用が必須です。各レベルにおいてのサバンナ活用対策として、地区委員会、リジョンチェアパーソン・ゾーンチェアパーソン及び各クラブ事務局を対象に計 4 回のサバンナセミナーを開催、サバンナへの会員情報の入力 of 徹底、会議・イベントの出欠管理について説明しました。

2) 地区ホームページの運用

今期のスタート 7 月 2 日にテーマカラーのグリーンを基調として、表示幅がフレキシブルな現在のスタイルにモデルチェンジしました。

キャビネットより各クラブ役員・メンバー・事務局また地区役員への情報伝達的手段として掲載内容の充実を図り、タイムリーなキャビネット情報をお伝えしています。また各クラブよりのアクティビティ・イベントの情報などを掲載しています。同時に地区委員会ページを設定し委員会議事録の公開、委員会活動の情報などを掲載、地区キャビネットのメディアとして活用されるように毎日更新しています。

3) 地区内各クラブの I T 化を推進

各クラブの会長、幹事、事務局を対象に I T セミナーの開催を検討しています。

クラブ H P の活用そして連絡手段としてのメールの活用を啓蒙する予定です。

見本とすべき先進的なクラブの I T 活用の事例を、そのクラブよりゲストスピーカーを招いて具体的にセミナーの出席者に紹介したいと考えます。

4) 今後の課題

サバンナによる年次大会、キャビネット会議、各委員会およびイベントなどの出欠登録の管理が完全に実現するよう今一度各位のご協力をお願いします。

5) 今期の委員会活動

上記の委員会のテーマに取り組むべく、毎月一度の頻度で定期的に委員会を開催し問題点、課題を確認、検討しております。キャビネット運営あるいはクラブ運営について I T 化は必要とのコンセンサスを得るようにさらにセミナー等を通じて啓蒙していきたいと思ひます。

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 PR・情報委員会

委員長名 L 山本康弘

報告事項

1－委員会開催並びに取材活動について

当委員会は主要タスクである地区ニュース発行円滑化を目的として、期初に年間スケジュールを作成し、10月15日時点で以下の通り委員会を開催した。

☐ 7月 8日 第1回 委員会

☐ 7月23日・7月30日 地区ニュース1号編集会議

☐ 8月 6日 第2回 委員会

☐ 9月 3日 第3回 委員会

☐ 9月17日・9月24日 地区ニュース2号編集会議

☐ 10月 3日 第3回 委員会

☐ 10月15日 地区ニュース3号編集会議＋IT委員会との合同委員会

また、より有意義な誌面とするために委員会メンバーが役割分担の上で積極的な取材活動を展開した。

2－330-A地区ニュースについて

今期の地区ニュースは以下の通り発行とする。

☐ 1号…2010年 8月末発行（河合ガバナー就任挨拶、地区役員一覧他）

☐ 2号…2010年10月末発行（チャーターナイトを考える、委員会レポート他）

☐ 3号…2010年11月末発行（奉仕月間特集＋YE レポート）

☐ 4号…2011年 1月末発行（チャリティーコンサート告知、OSEAL 報告他）

☐ 5号…2010年 3月末発行（特集、クラブレポート、委員会レポート他）

☐ 6号…2010年 5月末発行（特集、国際大会告知、委員会レポート他）

3－330-A地区名簿について

今期は地区名簿の作成年度であることから、2010年2月頃の発刊を目処に関係各位のご協力のもとで10月末頃より具体的な打ち合わせを行う。

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 青少年育成・ライオンズクエスト委員会

委員長名 平岩 宏司

報告事項 三回の委員会の結果を経て

1 ライオンズクエスト関係

ライオンズクエストについて、より深い理解を深める為、2010年10月7日午後1時より憲政記念館に措いて、ライオンズクエストセミナーを開催致した処河合地区ガバナー、大石第一副地区ガバナー、阿久津第二副地区ガバナー、330複合青少年育成ライオンズクエスト委員長（中島元地区ガバナー）始め、80名の参加がありました。

講師には相模原市立中野中学校の山田裕康先生、青少年育成支援フォーラムの田川薫先生、江戸川ライオンズクラブの坂本潤之輔Lを招き講演をして頂きました。

山田裕康先生には当初「荒れた中学校」であったが先生方がワークショップに参加、し「ライフスキル教育」を実践した結果、先生方の連携、生徒達の連携、先生と生徒達の連帯により今では「荒れた中学校」のレッテルを剥がす事が出来た実践話をして頂きました。

田川薫先生には「ライフスキル教育」の一つである「自信」について、参加者からの発言を通じて、「自信」に三本の足があることを例えに、一本でも崩れるとその「自信」が崩壊してしまうことの講話、全国のライオンズクラブの支援の上に立って

青少年育成支援フォーラム（LIYD）が開催するワークショップが300回（2009年迄）近く、今年度は既に100回以上に達しているとのことでした。

既にモデル校も33校に達し、これからもライオンズクラブの支援を仰ぎたい旨とのことでした。

坂本潤之輔Lの話では、ライオンズクエストに関しては、江戸川区が予算組をし、全中学校に対しての「ライフスキル教育」を全面的に支援しているとのことでした。これからもライオンズクエストの「モデル校」を目標にしたいとのこと。

質疑応答の後、午後3時終了。

2 地区内クラブの継続的青少年育成事業アンケートについて、

本年9月に各クラブ宛、上記の活動のアンケートをお願いした結果66クラブから回答を得ました。ガバナー公式訪問の際、各クラブから提出せれた概況表と合わせて精査している最中です。結果判明次第当委員会としてもその活動にガバナーと共に

に応援していくつもりです。

3 視覚障害者作文（英文）募集について

現在、国立筑波大学付属視覚障害特別学校、都立久我山青光学園、都立葛飾盲学校、都立八王子盲学校の4校の生徒達に対し要請中です。

作文が出来次第国際協会に送付します。国際協会の選に洩れた場合でも330-A地区として、その作品姿勢に関して栄誉を与えたいと思います。

(注) **10月15日（金）（※必着厳守）**までに330-A地区キャビネット事務局宛まで

EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします（Eメール報告推奨）

Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370
--

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 薬物乱用防止委員会

委員長名 L. 桐井 義則

報告事項

○ 薬物乱用防止教室講師認定講座について

年 2 回の開催を東京東地区・東京西地区各 1 回行います。第一回目については、本年 10 月 27 日に開催し第二回目については、来年 5 月を予定しております。

○ 薬物乱用防止教室認定講師スキルアップセミナーについて

認定者のスキルアップと実際の実施内容を含め、年 2 回の開催を行います。

第 1 回目については、本年 11 月 26 日に新宿にて行います。スキルアップセミナーには本年度の新規ゴールド認定者の受講を受けて頂く旨案内状に記載しております。また、スキルアップセミナー受講は、講師認定更新講座も兼ねられております。

○ 薬物乱用防止活動の PR について

薬物乱用問題については今や社会的に大きく取り上げられており、ライオンズクラブとしても、その活躍の場を期待されておりますが、ここで大きくスローガンである「薬物乱用はダメゼッタイ」を社会に PR する企画を下期に計画検討中です。

その際の各委員会をはじめとしたご協力をご要請いたします。

○ 前年度からの継続審議事項について

1. ゴールド認定講師連絡会設置について

委員会のサポーター組織と位置付け、単独連絡会は設置いたしません。

2. 啓発支援のための協賛金拠出依頼について

今年度は現状の資機材にて対応し、不足の際はキャビネットにお願いする。

教材費については開催クラブ（ゾーン、リジョン）の負担をお願いする。

3. キャビネット事務局の受付窓口設置について

今年度はキャビネット事務局長が受付担当をして頂けるとのことで、専用窓口の必要性はございません。

(注) 10月15日（金）（※必着厳守）までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします（Eメール報告推奨）
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 Y E 委員会

委員長名 L 三宅泰雄

報告事項

1. 9月4日(土) 各クラブYE委員長会を開催しました。(於:京王プラザ)
尚、今回は前期のYE派遣生帰国報告会(前期青少年育成委員会主催)と
合同開催という初の試みにて実施し成果を得ました。

2. 来る12月より来年1月半ば迄の間、YE来日生3名(ペルー、シンガポ
ール、マレーシア各1名)を受け入れ予定です。

3. 来春及び来夏のYE派遣生の募集を開始しました。

↗

(注) 10月15日(金)(※必着厳守)までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします(Eメール報告推奨)
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax: 03-5330-3370

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 女性参画・家族会員推進委員会

委員長名 L 片岡 洋乃

報告事項

河合ガバナーからの諮問事項のひとつ ” 女性及び家族会員の現況について “ はアンケートに依る調査を致しましたので、ご報告いたします。

別表のアンケート形式に依り、各クラブ会長にご協力頂き集計を取りましたので、参考資料として提出致します。(アンケート見本 3 枚・リジョン毎の調査結果 表紙を入れて 15 枚 計 18 枚)

尚、平成 22 年 9 月 30 日を締切りとし、全クラブの約 75% の回答を得ました。残りにつきましては、現在も引き続き調査中です。

以上よろしくお願い致します。

(注) 10月15日(金)(※必着厳守)までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします(Eメール報告推奨)
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 LCIF委員会

委員長名 田倉 仁

報告事項

- 1 LCIF 20 ドル献金入金状況 別紙入金一覧表をご参照下さい。
- 2 緊急援助交付金（7月5日発生 of 東京西北部集中豪雨被害に対する）報告の件
別紙LCIF緊急援助交付金報告書をご参照下さい。（添付資料）
- 3 東京鴛谷LCによる国際援助交付金申請の件
劣悪環境下における青少年の為の教育環境改善事業（7,500 ドル申請）
（フィリピンルソン島マカベベ市サンエステバン小学校）
申請書の一部を変更して貰い内容の確認を行なう。（9月14日発送）

(注) 10月15日（金）（※必着厳守）までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします（Eメール報告推奨）
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力 of うえご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax: 03-5330-3370

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)

緊急援助交付金報告書

1. 地区名 330-A 2. 交付金番号 GA12015/330-A
 3. 交付金額 10,000USD
 4. 災害の種類 集中豪雨による水害 5. 災害発生年月日 2010年7月5日19時～
 6. 緊急援助交付金救済事業が完了した年月日 2010年8月6日(金)
 7. 直接恩恵を受けた人々の数を、受けた奉仕の種類別に記載してください。
東京都北区、練馬区、板橋区の水害による被害者 ・別紙のとおり
 8. 緊急援助交付金最終経費 必要額を項目別に記載してください。
水害による被災者へ、下記のとおり各区行政と共同で援助を行った。

現金	北 区	30 万
現金	練馬区	30 万
現金	板橋区	30 万

支出総額 90万円 (330A LCIF 委員会1万円献金含む)

9. LCIF 緊急援助交付金を必要とした災害の状況について、詳細を説明してください。

7月5日19時17分、大雨洪水警報発令、同20時55分土砂災害警戒情報が発令された。
3区への集中豪雨は、19時40分～21時迄の間に、77.5 mm ～ 113.30mm に達し、
北区：床上浸水 271 件、床下浸水 261 件、
練馬区：床上浸水 74 件、床下浸水 65 件
板橋区：床上浸水 156 件、床下浸水 41 件

10. LCIF 緊急援助交付金は、被災者の救援にどのように役立ちましたか？

各区（行政）各地区の浸水の防止のための用具（例：土嚢袋）の購入に当てられた。

11. ライオンズによる救済活動が地域の人々にどのような影響を及ぼしましたか？

各地区の多くのライオンズメンバーを含む地域のお見舞いや各ライオンズの参加により啓蒙を与えられた。

12. ライオンズの救済活動は、貴地域の奉仕活動に対する地域の人々の理解を深める上でどのように役立ちましたか？

緊急に対応した行政（区）にライオンズの組織とアクティビティの理解を与え地域住民の救済に貢献した。

13. LCIF 緊急援助交付金とそれを活用して行われたライオンズの救済活動は、どのように PR されましたか？

普段ライオンズ活動を理解していない住民の方々に、ライオンズがこの様なアクティビティをしていることを良く理解して頂いた。

以上報告いたします。

2010年 9月 24日

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) 御中

報告者 ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
LCIF委員長

田倉 仁

上記、間違いのないことを確認した。

2010年 9月 24日

交付金管理責任者
ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
ガバナー 河合悦子

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 国際関係・モンゴル支援委員会

委員長名 L 水谷 力

報告事項

2010 年 7 月 27 日 第 1 回委員会 キャビネット事務局会議室

主な議題 国際関係とモンゴルについて

9 月 3 日 第 2 回委員会

主な議題 モンゴルフレーチャータナイト参加について

9 月 15 日ー 9 月 20 日 フレーチャータナイト出席、参加者 10 名、
委員会委員 6 名

9 月 27 日 第 3 回委員会 キャビネット事務局会議室

主な議題 国際関係に関するアンケートの作成と発送

予定 2011 年 6 月 18 日（土）から 19 日（日）

モンゴルライオンズクラブ年次総会開催予定

日程が確定致しましたら、ご案内致します。

(注) 10月15日（金）（※必着厳守）までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします（Eメール報告推奨）
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 難病対策支援特別委員会

委員長名 L 村木 秀之

報告事項

現在までに計 4 回の委員会を開催。

2011 年 3 月 11 日（金）に開催予定の「フォーラム&チャリティーコンサート」について

① 会場設営全般 ②後援者へのお願いと決定 ③寄贈先の決定

④入場チケットの金額・購入のお願い方法・入場者数の決定

⑤会場外（池袋西口公園）でのイベントの企画と依頼先の検討

⑥当日を この「フォーラム&チャリティーコンサート」を中心とした

330-A 地区のお祭りとなるように 各委員会へ協力をお願い、又 各委員会で開催できる奉仕活動を実施して頂けるよう依頼する。

等を協議した。

詳細については別紙を添付しましたのでご一読下さい。

(注) 10月15日（金）（※必着厳守）までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします（Eメール報告推奨）
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370



2010-2011 河合キャビネット メインアクティビティ



ライオンズクラブ国際協会330-A地区主催
『フォーラム&チャリティコンサート』

～難病と闘う子供達と
家族を応援しよう～

開催事業計画書

開催主旨

行動する1年をコンセプトに「行動と改革への挑戦～主役はあなた、330-A」をスローガンに河合キャビネットは発足いたしました。

330-A地区で行われるアクティビティにおいて、少しでも多くの時間をメンバーの皆様と共有することを願い、10月を奉仕月間と位置づけ積極的なアクティビティをお願いしております。これを前半の柱とし、皆様の多大なるご協力をもちまして多くの奉仕活動に参加させていただくことができました。深い感謝とともにお礼を申し上げさせて戴きます。

後半は3月11日の「フォーラム&チャリティコンサート」を柱としたいと存じます。

100年に近い歴史を持つ世界最大の奉仕団体として、ライオンズクラブは数多くのアクティビティにより、社会に寄与してまいりました。殊に視覚障害者への奉仕は長年主たるアクティビティとして続けられてきました。近年では、330-Aで開催された障害を持つ方がた500名をディズニーランドご招待するというイベントは、皆様の記憶に新しいものかと存じます。

今年度は難病対策支援特別委員会を設置して、「フォーラム&チャリティコンサート」を開催させていただきたいと思っております。

これは、小児ガンその他の難病と闘う子供たち、そしてそのご家族を応援したいとの思いから発しております。このイベントを通してメンバーのみでなく、一般の方がたも一体となった暖かな善意の灯りが、日々、深い苦悩のなかで生活されている方がたへ、未来への夢と勇気を与える機会となることを願っております。

気持ちを寄せてくださったすべての方々が、奉仕の感動を共有していただけますように、このイベントを成功に導きたいと切望しております。

3月11日、2000名もの方がたに芸術劇場までお運びいただくのは大変壮大かつ困難な企画と申し上げるべきでしょう。しかしガバナー河合悦子のライオンズ人生における熱い思いの実現として、ぜひご協力、ご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
2010-2011地区ガバナー

実施概要

名 称	ライオンズクラブ国際協会330-A地区主催 「フォーラム & チャリティコンサート」 ～難病と闘う子供達と家族を応援しよう～
開 催 日 程	2011年3月11日(金曜日) 開場17時 開演18時～20時30分
主 催	ライオンズクラブ国際協会330-A地区
後 援	豊島区 東京都 東京都教育委員会 豊島区社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会
開 催 場 所	東京芸術劇場 大ホール 東京都豊島区西池袋1丁目8番1号
寄 贈 先	(財)日本対がん協会 (財)難病医学研究財団 メイク ア ウィッシュ オブ ジャパン
入 場 者	全席1999席 内一般入場者1900名(ライオンズメンバー他) 招待者99名(病気と闘う子供達と家族および関係者)
入 場 チ ケ ッ ト	一律 5,000円(全席指定/入場収益はすべて寄付金といたします)／ただし指定席は当日受付にて交換を行う
そ の 他 開 催	池袋西口公園においてライオンズクラブのアクティビティを行う 献血・骨髄移植の呼びかけを行う 薬物乱用防止の街頭呼びかけを行う 献腎などのドナー登録の呼びかけを行う 社会福祉の募金活動などを行う など各委員会とのリレーションシップにより計画

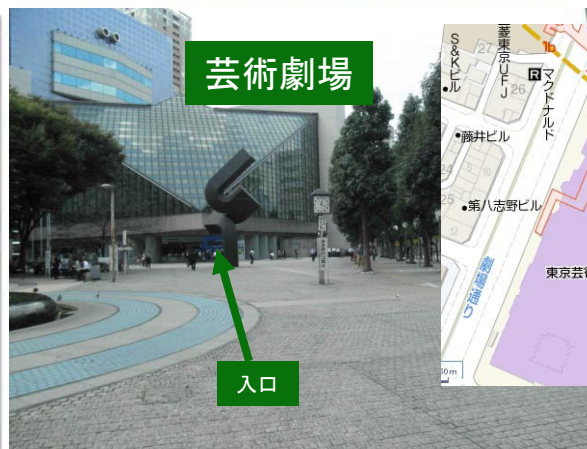
「フォーラム & チャリティコンサート」進行内容

オ ー プ ニ ン グ 18:00～18:10	18:00	司会者 山本文郎さん登場(オープニングBGM) 開催宣言
	18:03	主催者挨拶 河合悦子ガバナー 参加のお礼と主旨説明(パワポ投影)
	18:07	後援代表挨拶 高野豊島区長 後援主旨説明と参加のお礼
プレゼンテーション 18:10～18:20	18:10	会場内暗転 小児がんの現状 病気と闘う子供達とその家族の現在などVTRもしくは パワーポイントにてナレーション付きで解説を行う。
パネルディスカッション 18:20～19:10	18:20	司会者 山本文郎さん再度登場 ディスカッション参加者紹介 アンカーウーマン／河合ガバナー パネリストゲスト／アグネスチャン他、現在交渉中
休憩 舞台 転換 19:10～19:20		
チャリティコンサート 19:20～20:30	19:20	アグネスチャン登場 司会者と前降りトーク
	19:25	アグネスチャンライブ開始
	19:55	アグネスチャンライブ終了 送り出し
	20:00	自衛隊音楽隊登場 司会者より紹介 ライブ演奏開始
	20:30	ライブ演奏終了 カーテンクローズ
フ ィ ナ ー レ 20:30～20:40	20:32	河合悦子ガバナー 登場 参加のお礼
	20:35	寄贈先団体 登場 ガバナーより目録の贈呈
	20:40	司会者より閉会の言葉 終了

施設概要1

メイン会場 東京芸術劇場 大ホール

東京都豊島区西池袋1丁目8番1号



エスカレーター



委員長報告

「ライオンズクラブのこれからのあり方」

ーユニバーサル社会に向けてー

ライオンズクラブ国際協会 330・A 地区

障害者・社会福祉委員会

委員長 秋富一美

10 年前に設立され、ユニバーサル社会の実現を目指し活動を展開する NPO 法人コミュニケーション・スクエア 21（理事長 大塚公彦）が主催する第 9 回ピボ・ユニバーサル駅伝大会に、330A 地区として初めて全面的に参加・協力（後援）を行ないました。

ユニバーサル社会とは「年齢・性別・障がい・文化などの違いにかかわらず、誰もが地域社会の一員として支えあう中で安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる社会」を言います。これは第 159 回の国会決議により「ユニバーサル社会の形成促進に関する決議」が制定され、これからの福祉社会に対するひとつの指針となっています。また地域に密着したライオンズクラブの 21 世紀を担うアクティビティのあり方としての使命でもあります。

ピボ・ユニバーサル駅伝大会は競技時間を競うのではなく、走ることを楽しみながら選手とサポーターと各チームの仲間がお互いの立場を理解しながら（心の）タスキをつないでいくものです。選手は小学生・高齢者・車いす利用者・視聴覚障害者・フリースタイルの 5 人に各サポーターが付き、国立競技場のトラックおよび周辺コースを走りました。当日のボランティアは日本陸連の公式審判員がスタート・ゴールの管理、また走路員や旗を持っての応援、早朝よりテストや机・椅子を持ち込み受付の設営等々を担当。そして事前には参加者の名札の作成などの裏方仕事、リーダーに対する事前研修やライオンズメンバーによる応援グッズ作成も大会を盛り上げました。1 チームは都内の専門学校の学生がチームリーダーを担当し、20 チームが編成されました。この中には海外から研修に来ている障がい当事者で、将来各々の国に戻り障がい者教育に携わる人、7 名も参加しています。ボランティアとして申し込みをした何人かは、車イスや視覚障がい者（アイマスク使用）の疑似体験を行ない、この様子は翌日の毎日新聞（都内版）にも大きく掲載されました。

競技終了後は近くの小学校の校庭に移動し、昼食後、やはりボランティアであるバンドの演奏で皆歌ったり踊ったり楽しい交流会の後、一日が終わりました。若いリーダーの中には、こんな充実した 1 日を初めて体験した。障がい者からは色々なことを色々な人と一緒にできて楽しかった。車イスの人はライオンズクラブの人たちの応援の旗やプラカードが

とても嬉しかった等々の感想が寄せられました。

これまでライオンズクラブのアクティビティーは、ややもすると社会的弱者に対し、お金や物をドネーションする傾向にありましたが、今回この駅伝の準備から関わり、1 日を様々な人達とのふれあいを得た体験は近年にない喜びであり心地良い満足でした。これこそユニバーサル社会に向けてのライオンズクラブのこれからのあり方と、強く確信しました。

昨年度第 1 副地区ガバナーとしてこの大会に参加した河合悦子ガバナーは、当日のことを「大変さわやかで感動的なものでした」とおっしゃっています。その思いが今期ガバナーとして地区内全クラブに呼びかけにつながりました。「来年は 10 回目の節目の年になりますね。より良い駅伝になり、東京ばかりでなく日本全国に広がることを祈念しております。」との言葉をいただきました。

第2回キャビネット会議委員長報告書

役職名 高齢者福祉委員会 委員長

L 名 L, 中迎 譲司

第1回委員会 平成22年7月26日 16:30～17:00

東京プリンスホテル 鳳凰の間

○委員会構成員 自己紹介と委員会への取り組みと意見交換

○審議

ガバナー諮問事項に委員会として如何に取り組むかの検討

第2回委員会 平成22年8月20日 16:00～18:00

キャビネット事務局会議室

○ガバナー諮問事項の審議

1、高齢者福祉の現状と、現在の動向と踏査

2、高齢者福祉施設と連携クラブの紹介並びに奨励について

○審議事項

1、高齢者福祉の現状と、現在の動向と踏査

ライオンズハート(2008～2009)を、ベースに

ライオンズハートⅡを作成、

電子ブック化して330-A地区ホームページに掲載

(役割分担)

電子ブック化 L武田副委員長 L村木委員 L福島委員 L高森委員

校正 L福島副委員長 L水津委員 L佐藤委員

記事 L中島副委員長 L武田副委員長

(記事掲載依頼先)

河合地区ガバナー、大石第一副地区ガバナー

阿久津第二副地区ガバナー

インタビューテーマは、高齢化を迎えるライオンズ活動指針と

次世代につなぐライオンズの有り方など

第3回委員会 平成22年9月15日 16:00～18:00

キャビネット事務局会議室

○ライオンズハートⅡの内容とスケジュール

1、ライオンズハート発刊より2年経過し、資料の内容変更、事業所一覧変更などを精査の上、新たにライオンズハートⅡをキャビネットのHPに

リンクする旨を、各クラブに案内し、その内容を掲載する。

2、高齢者福祉施設と連携して奉仕活動しているクラブがあれば

その活動の報告を掲載する。

第4回委員会 平成22年10月14日 16:00～18:00

キャビネット事務局会議室

○ライオンズハートⅡの内容とスケジュール

1、構成

目次 1ページ

インタビュー 8ページ

介護情報 12ページ

クラブ奉仕情報 10ページ

事業者一覧 20ページ

委員会活動報告 3ページ

(注)広告の掲載はしない

2、スケジュール

インタビューは年内に行う事として、取材日は委員長一任

クラブへの案内は第2回キャビネット提出案件承認後発送

今後、随時小委員会を担当副委員長の主催で開催し

平成23年3月ごろを目標に電子化

ライオンズクラブ330-A地区ホームページに掲載する。

第2回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 献血・骨髄移植推進委員会

委員長名 渋谷 俊徳

報告事項 10月3日 献血・骨髄バンク アクティビティ

去る10月3日(日)新宿駅東口アルタスタジオ1階における「アクティビティ」に御賛同いただき誠にありがとうございます。お陰様をもちまして、無事盛大に行われる事が出来た事をここに報告させていただき、御礼とさせていただきます。

○参加人数	ライオンズメンバー	105名
	(キャビネット関係、例会振替出席含)	
	骨髄バンクメンバー	35名
	日赤スタッフ	8名
	新宿第4団ボウイスカウト	40名
	その他ボランティア・アーティスト	12名
	総数	200名

○協力・協賛クラブ数(別表)	協賛28クラブ	
	協力2クラブ	計30クラブ

○当日 献血者数	48名	骨髄ドナー登録者数	34名
○当日募金額	321,888円		
○当日募金額	629,388円		
○当日スケジュール・写真			
○アクティビティ決算報告			

以上 報告させていただきます。

ありがとうございます。

詳しくは別紙「事業報告書」を参照下さい。

注) 10月15日(金)(※必着厳守)までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします(Eメール報告推奨)
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail : cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

第2回キャビネット会議委員長報告書

環境保全委員会
委員長 吉田宗一郎

報告事項

環境保全委員会からの各クラブのアクティビティ応援

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

環境憲章

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区は、われわれの子孫へ未来を継続するため、ライオンズの奉仕の精神に則り、各クラブメンバーが手をつなぎ、地球環境保全活動を推進する。

環境テーマ 森の都 東京に

森の国 日本へ

キーワード “山” “川” “海”

スローガン 21 世紀のライオンズクラブ

メンバーは地球を救う騎士になれ

上記の環境憲章と環境テーマ、キーワード、スローガンのもと
委員会活動を実施していきます。

- 1 各ライオンズクラブが行っている環境保全アクティビティに
環境保全委員会の委員が応援に行きます。
- 2 各クラブに環境保全アクティビティを紹介して新たに環境保全
アクティビティを実施してもらうように促します。
- 3 各環境保全委員会の委員が各クラブで環境保全アクティビティ
を新規に行う場合、支援できるようにノウハウを蓄積します。

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 綱紀指導委員会

委員長名 L海渡 一智

報告事項

準備委員会 7月 5日 (月) 於：ワシントンホテル

委員長、副委員長にて、今期綱紀指導委員会が一年間の運営をするための打ち合わせ会を行う。

第一回委員会 7月28日 (水) 於：ワシントンホテル

委員会メンバーに綱紀指導の主旨説明を行い、ガバナー方針の『和でつなぐ奉仕の輪』を重きに置き、ライオンズ道徳綱領を鑑み、ライオンズクラブメンバーに質の低下を元に戻し、品格あるライオンズにする為、助言及び指導を行い、地区の発展に繋げることとする。

第二回委員会 9月14日 (火) 於：キャビネット事務局

ライオンズの問題点等委員会にて意見交換を行い、メンバーから大変活発な意見があり今後の委員会運営に役に立つものと思われる。

第三回委員会 10月22日 (金) 於：キャビネット事務局

(注) 10月15日 (金) (※必着厳守) までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします (Eメール報告推奨)
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370